

レジメン名：CPT-11 + Pmab 療法

【適応癌腫】 大腸癌

【1 コースの期間】 14 日 【最大コース数】 - コース

【催吐性リスク】 中度

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)					
Rp 01	点滴注射 30分かけて グラニセトロン静注液シリンジ 3mg 「ナリ」 デカドロン注射液 3.3mg/1mL 生理食塩液 100mL	点滴静注 (速度入力なし) 3 mg 9.9 mg 100 mL		+00:00					
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 点滴 [化療] 全量：100mLとして 投与前後に生食20mLでフラッシュ 1時間かけて ベクティビックス点滴静注 100mg/5mL 生理食塩液 100mL	6 mg/kg 100 mL		+00:30					
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 点滴 [化療] 90分かけて イリノテカン点滴静注 生理食塩液 500mL	150 mg/m ² 500 mL		+01:30					

【備考】

UGT1A1*6*28 のホモ接合体、またはヘテロ接合体を有する場合は CPT-11 の減量を考慮。必要時に下痢予防として
半夏瀉心湯 7.5g/3x を治療前日から考慮。

パニツムマブはインラインフィルター0.2 or 0.22 ミクロンを用いて投与。パニツムマブの1回投与量が 1000mg を超
える場合は溶解液の生食を 150mL に変更し、90分以上かけて投与